

1 読んでみよう! 撮ってみよう! 「声と映像であそぶ」 往復朗読ワークショップ

10/8(日)



アーティストの青柳菜摘さん、佐藤朋子さんが取り組むオンライン・パフォーマンス「往復朗読」を体験します。作家や詩人、アーティストから集められたテキストを、さまざまな方法で朗読するワークショップです。外にて読んでみる、誰もいないところで読んでみる、カメラにうつりながら読んでみる、誰かのことばにつなげて読んでみる。朗読を映像にすることで、自分なりの声と映像の遊び方を発見していきます。

「往復朗読」とは物語やテキストの断片をその日ごとに選んで読み語る、オンライン・パフォーマンスのアートプロジェクトです。青柳さんと佐藤さんがSNS上で交互に往來する朗読映像を2020年よりライブ配信しています。
<https://twoprivaterooms.com>

開催情報

日時: 2023年10月8日(日) 11:00~16:00[お昼休憩あり]
講師: 青柳菜摘(アーティスト)、佐藤朋子(アーティスト)
会場: 山梨県立美術館 工房・ワークショップ室
対象: 中学生~大人
参加費: 無料
持ち物: 昼ごはん、カメラ付きスマートフォンやタブレット(任意)
定員: 10名程度(先着順: 定員に達し次第締め切り)
申込締切: 2023年10月6日(金) 15:00

青柳菜摘 Natsumi Aoyagi

アーティスト、1990年東京都生まれ。現代美術の分野で映像インスタレーションを国内各地で発表する。近年は詩人としても活躍。観察と記録の関係をプロジェクトベースに探究している。第28回中原中也賞受賞、コ本やhonkbooks主宰。
<https://www.datsuo.com>



写真: 和田啓太郎

佐藤朋子 Tomoko Sato

アーティスト、1990年長野県生まれ。レクチャーの形式を用いた「語り」の芸術実践を行っている。近年の活動に、「オハケ東京のためのインデックス」(シアター・コモンズ、2021-)、第14回志比寿映像祭「スペクタクル後 AFTER THE SPECTACLE」(東京都写真美術館、2022) 出品など。
<http://tomokosato.info>



写真: 大野純平

2 色を組み立ててイメージを生成する!? 色彩の素ワークショップ

10/21(土)



新しいメディアの登場は、色彩を再現する仕組みの発明でもありました。アナログやデジタルを問わず、絵具、印刷術、映像装置、どれも色を再現するメカニズムがさまざまです。また色彩は並べ方によって感情や記憶を引き出し、世界を再発見させてくれます。このワークショップでは、身近なメディアの「色彩の素」を体験的に学び、新たなイメージ=像をデザインしていきます。実際に手を動かして、新しい色彩の可能性を探っていきましょう。

開催情報

日時: 2023年10月21日(土) 10:00~16:00[お昼休憩あり]
講師: 柳川智之(グラフィックデザイナー)
会場: 山梨県立美術館 工房・ワークショップ室
対象: 中学生~大人
参加費: 無料
持ち物: 昼ごはん
定員: 10名程度(先着順: 定員に達し次第締め切り)
申込締切: 2023年10月19日(木) 15:00

柳川智之

Tomoyuki Yanagawa

グラフィックデザイナー。1985年愛媛県生まれ。武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。情報科学芸術大学院大学[AMAS]メディア表現研究科修了。色や形などの基礎造形に関する研究・制作を行っている。2015年より大原崇喜、古澤龍とともにヨフのメンバーとしても活動。
<https://vorbildurbild.com/>



写真: 堀口俊太

3 蝉の声をつくる! —電子工作入門編— セミ・ミメシス・ワークショップ

10/22(日)



このワークショップでは、生物の仕組みを観察して、電子工作で再現することに挑戦します。夏の到来を告げるセミの鳴き声は、どうしてこんなに強く人々の記憶に残っているのでしょうか。セミが鳴く仕組みとスピーカーが鳴る仕組みを比べ、生き物や機械が発する音についての理解を深めていきます。ワークショップの後半は、わたしたちの生活を支えている電子回路についての知識を学び、セミの鳴き声を模した楽器を電子工作で製作していきます。10月の山梨にセミの声を響かせましょう。

開催情報

日時: 2023年10月22日(日) 10:00~16:30[お昼休憩あり]
講師: 横川十帆(芸術工学、東京藝術大学大学院映像研究科教育研究助手)
会場: 山梨県立美術館 工房・ワークショップ室
対象: 中学生~大人
参加費: 無料
持ち物: 昼ごはん
定員: 10名程度(先着順: 定員に達し次第締め切り)
申込締切: 2023年10月20日(金) 15:00

横川十帆

Juppo Yokokawa

1996年愛媛県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科教育研究助手。専門は芸術工学、イカの体色変化を用いた映像作品を制作しています。生命現象が生み出すメカニカルな映像表現を模索中。
<https://juppotamus.com/>



写真: 若崎広大

4 カメラを持ってメタバースを楽しもう! バーチャル・モーメンツ・キャプチャー —VRワークショップ—

10/28(土)
29(日)



「VRChat」と呼ばれるバーチャルリアリティ空間を歩きめぐります。仮想空間では誰もが普段とちがった姿形になりますが、よく見慣れた都市の一部がそこに再現されていたりもしています。今回はこの不思議な世界に仮想のカメラを持って、撮影ワークショップを行います。カメラにはどんな写真や映像が映るのでしょうか。仮想空間を通じて、記録行為とイメージ表現の新しい可能性を探っていきます。

開催情報

日時: 2023年10月28日(土)、29日(日)
各10:00~16:00[お昼休憩あり]
※両日とも同じ内容です。ご都合の良い日をお選び下さい。
講師: 本間悠暉(アーティスト、やまなしメディア芸術アワード2022 優秀賞受賞)
会場: 山梨県立美術館 工房・ワークショップ室(予定)
対象: 中学生~大人
参加費: 無料
持ち物: 昼ごはん
定員: 各回5名程度(先着順: 定員に達し次第締め切り)
申込締切: 2023年10月26日(木) 15:00

本間悠暉

Yuki Homma

アーティスト。インターネットやソーシャルVRといった仮想空間の社会性を主題にして制作を行う。2023年、VRChatをインタビュ手法で撮影した映像作品『Chronicle of a void』でやまなしメディア芸術アワード2022にて優秀賞を受賞する。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻在籍。
<https://www.instagram.com/homnymn/>

